

さくらっこ便り 2021年 10月9日号

さくらっこ広場通信 第89号

秋の自然を体いっぱい感じたさくらっことは、今日も元気です！

今日も、元気に6組18名の親子の皆さんと、保育コース1年生学生が3名参加してくれました。
朝方降った小雨もやみ、曇り空の下、皆元気に外遊びが充実しました。

1年生の学生たちも、さくらっことの遊びの広がりには驚きながらも、今日も遊びの広がりと一緒に楽しんでいました。皆、遊び方も1回も同じような遊びがないのです。毎回、どんな展開になるのかとても楽しみです。



絵具も準備しました。紅葉した木の葉が落ちてきているから、絵具遊びに活かせるかな？と、少し拾ってきて絵具と一緒に準備した学生たちでした。どんな遊びになるか楽しみです。



何しようかなあ？と考えつつ、それぞれ遊び始めます。ままごとや、工作を始める人もいますよ。



あら久しぶり！顔なじみのお母さんたちが、偶然ここで再開したりしながら、楽しくお話がはずみます。子どもたちは、広場は「遊ぶところ」と決めてきますから、すぐに遊びに集中し始めます。



敷地内を縦横無尽に歩き回って、虫を探している S くん(小 1)です。コオロギの名前を覚えてもらいましたが、まるでロシア語のように聞こえて、さっぱり覚えられない私です…学生たちも目を白黒させるような「昆虫博士」です。



今日は、ひたすら池を作るための土木工事に熱中する H くん(小 4)です。「柔らかい土で、固めるといいんだよ」と、一度決壊した後も、工夫しながら作り続けます。そこに、昆虫博士が「水の上を泳げるクモ」をもってやってきました。「これ、水の上をアメンボみたいに歩けるんだよ。ちょっと入れてもいい?」「うんいいよ」二人の相談が、まとまります。



昆虫博士に名前を覚えてもらいましたが、ロシア語のように聞こえて、やはり覚えられませんでした。今調べていて「コモリグモ科?」の「ウズキコモリグモ」というのが、出てきましたが、これで良いのでしょうか? 来週また教えてもらおうと思います。アメンボのように、足の裏に毛が生えていて、水に沈まないのだそうです。それにしても、すごいなあ…



なんと、砂場周辺の遊びが、入り乱れているようにみえますが、皆意識しながらとても面白い会話が飛び交っています。土木工事が砂場で進んでいます、消防士さんがそばで「火事」を消しています。

「熱いから、近づかないでね」と言われた Y ちゃんは、ママとそっと避けながら、そこを通りました。



掘ったり、積み上げたりしているうちに、だんだん山ができてきました。

お姉さんが、山にトンネルを掘ってくれました。皆、トンネルに手を入れてみて、気持ちよさそうです。

山に水を注いでいる人がいます。トンネルを見て「山火事だ」と言った人がいます。お父さんによると、「火山」のことだそうです。なるほど、奥が深いです。皆のイメージがまじりあいながら、遊びが続きます。

🐞を拾ってきて、砂遊びに使っている人もいます。



そのうち、砂場のわきで、熱心に色水を作り始めた人たちがいます。それを、砂場の穴に流し込んで、緑の池を作っている人もいます。



外で作った色水で、絵を描いてみることにした人が、保育室入ってきました。さっき拾った落ち葉も持ってきたようです。なんとなく、秋の色合いが出ていますね。自然に子どもたちが作ったすてきな「秋の色」ばかりです。



芸術の秋！
秋の自然が、遊びの中からいつの間にか表現された世界です。
遊びの天才たちの世界が、今日も画面いっぱい表現されました。
また、遊びましょう！

<10月・11月の予定>

10月16日(土)秋の自然を楽しもう

10月23日(土)親子クッキング:野菜館の味噌ゆべし * 食物栄養専攻 学生と教員参加

11月6日(土) リースを作ろう

11月27日(土)親子クッキング::ベジパウダー 米粉のシフォンケーキ * 食物栄養専攻 学生と教員参加

<連絡先> * 参加の方はメールでご連絡ください

狩野奈緒子(桜の聖母短期大学) naoko-k@ssjc.ac.jp